

学校法人 松泉館 六甲幼稚園

令和6年度 学校評価

1.本園の教育目標

- ・遊びを学び、豊かな心と生きる力を育み、心身ともに健やかな幼児の育成
- ・自ら考え、自ら行動できる主体性をもった幼児の育成
- ・自分も周りも大切にできる、思いやりの心をもった幼児の育成
- ・物事のルールを知り、対人関係の基礎である社会性、協調性を育む

2.本年度重点的に取り組む目標と計画

- ・自ら考え、発言、行動し、表現する力（主体性）を養う
- ・園だより・クラスだより・おうちえん等を通して、子どもたちの成長を、園と家庭が共有し、共通理解を深める

3.評価目標の達成及び取り組み状況

自己評価結果（達成状況）

【A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった】

評価項目	結果	具体的な内容と成果
個々の興味関心や心の動きに気づき、関わりを工夫する	B	子どもが主体的に遊び、さらに興味関心のある遊びが発展できるよう関わりを工夫した。子ども自身が自己発揮できるよう、待つ姿勢、見守る姿勢、気持ちに寄り添った言葉かけを意識し、必要に応じて仲立ちをするなど関わりを工夫した。子どもたちが主体的に取り組む試行錯誤する過程を大切にしていくことを職員間で意識してきたが、全体での共有が十分ではない部分もあったように思う。10の姿を捉える研修を通して、子どもの姿の捉え方や子どもの心の読み取りに重点を置いた園内研修を継続的に行っていきたい。
子どもが主体的に活動できる環境構成の工夫を行う	B	子どもの成長に合わせ、子どもたちがやりたいと思える遊びができるよう、環境構成を工夫した。また、子どもが自ら考えて選択できるような、子どもの主体性を尊重した環境構成の工夫を意識した。園庭での遊びでは、常設遊具で遊ぶだけではなく、虫めがねや虫かごなどを用意することで、自然といきものに興味関心を持ち、探求心を育む遊びが展開できる環境構成になるような工夫をし、さまざまな遊びに子どもたち自ら触れる機会を作れるよう工夫していきたい。

<p>おうちえん等を活用し、保護者への見える化を行うとともに、保育教諭自身の「子どもの育ちを見る力」の向上をはかる</p>	<p>B</p>	<p>おうちえんでは毎週末、子どもたちが興味を持っていることや活動の様子を配信し、保護者への見える化を図った。今年度から、3・4・5歳児クラスではフリー職員がおうちえんの担当となることで写真の撮影や配信準備等がスムーズになり、昨年度よりも多く配信することができた。しかし、担任とフリー職員との連携が十分ではなく、伝えたいと思う内容が異なっていることもあったため、保育のねらいや保護者へ発信したいことをお互いに共有する必要がある。</p> <p>クラスだよりでは、それぞれのクラスの子どものたちの興味のあることや活動の様子、頑張っていることとともに、担任の保育のねらいを伝えることができた。</p> <p>見える化としては、昨年度と比べると達成できている部分もあるが、おうちえんに関しては保育教諭自身が育ちの記録として活用するまでは至らなかった。</p>
---	----------	--

○学校評価の具体的な計画の総合的な評価結果

結果	理由
<p>B</p>	<p>子どもの興味関心、思いを尊重しながら、クラスや個々に合わせた援助や環境構成の工夫に努めた。様々な活動を通して、子どもたちが自己発揮できたことで、自信を持って過ごす様子が見られた。子どもが主体的に活動に取り組むことを大切にされた保育を職員が更に意識していく必要がある。</p> <p>保護者への見える化は昨年度よりもできたが、内容をより充実させたり、保育のねらいをしっかりと伝えられたりするようものにしていきたい。そのためは、職員間で保育のねらいをしっかりと共有していくこと必要がある。</p>

○学校関係者の評価

<p>年間を通じて、子どもが主体的に活動に取り組む環境づくりがなされていることが伝わってきた。子どもの意見を尊重し、先生が主体となるのではなく、子どもたちに寄り添いサポートする体制が整っているように思う。その取り組みから子どもたちの意識が変わってきた様子が家庭でも見られた。</p> <p>子どもたちの成長に合わせた取り組みや子どもたちの個性を大切にされた環境を整える工夫されていることがよくわかる。</p> <p>広い園庭のすみずみまで使って自然と触れ合う機会が多く持っており、子どもたちのいきものに対する興味関心を引き出し、大切にしている心や育む保育が実施できている。</p> <p>おうちえんやクラスだよりでの配信が増え、幼稚園での様子や子どもの成長がわかって安心することができ、保護者への見える化が図られているように思う。</p>
